

広丘



母の背に そりて眺めし 夕月の
うらはかなさは 一生を貫く

若山喜志子

広丘を代表する歌人の歌

広丘児童館

広丘地区文化祭で展示された作品

「ぼくたちわたしたちの街」を囲んで

広丘公民館の最新情報は
Facebook ページをご覧ください。
<https://www.facebook.com/hirookakouminkan>



広丘公民館報の歩み(その2)

松風



今回は154号に引き続き、当館報の歩みについて今少し触れておきたい。

154号では、復刊が昭和46年11月だったことまで書いた。その第1号で、御子柴哲郎館長は「公民館報は社会教育活動の一部であることはもちろん」公民館事業を「皆様に伝えるとともに、皆様からの問題提起の場でもあり」「地域の課題を見出す大きな役割をもつもの」で、「一読くださったって御感想、御意見等を寄せ」、「よりよい館報に」育ててほしいと綴っている。B5版で4頁。表紙の題字は右上段に縦書きで「公民館報 ひろおか」で、古厩博人氏の書であった。

その後、昭和59年1月1日発行の42号から、A4版4頁、時に6頁となり、題字は表紙の上段に幅広く据えられ、平成9年3月の83号までこの形が続く。

平成9年7月の84号からは、全般的にカラーを使用するようになった。今まで白地に黒文字一色だった館報も随所にカラーが使われ、華やかで見やすくなった。なお、この号から題字が昨秋世界された百瀬勝一氏の書となった。

平成12年には林雅彦館長の方針で8月の93号から8頁に定着し、題字の上に「短歌のふるさと広丘」との表示がなされ、平成18年6月には「短歌のふるさと公民館報 広丘」と改め、現在に至っている。(T・M)

令和3年度 広丘地区 文化祭

11月7日(日)開催

広丘公民館（えんてらす）で開催された、広丘地区文化祭。今年度もコロナ禍により展示発表のみの文化祭となりました。

広丘児童館や広陵中学校による児童・生徒の作品をはじめ、広丘地区文化サークルによる絵画・パッチワーク・短歌・俳句等の作品など、数多くの作品が並びました。

参加された方からは「コロナの中でも、それぞれに作品づくりをされている方々に感心した。元気をいただいた。」「どれも力作ばかり。来年度はもっとたくさんの作品が並べられるといいですね。」などの声が寄せられました。写真で展示の一部を紹介します。

来年度は音楽祭も含め、本来の文化祭ができるよう願っています。



広陵中学校



広丘公民館短歌会



百瀬勝一門下生



サルビア会



野の花会



分館活動



キャンディポップ



原新田短歌会

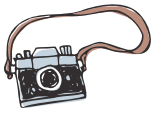


ほくたちわたしたちの街

表紙説明

広丘児童館を利用している全児童227人による作品、「ほくたちわたしたちの街」。

広丘の「ここがすきだな」、広丘が「こんなふうになったらいいな」・・・一人ひとりの思いを付せんに書いて貼ってみました。この作品は広丘地区文化祭で展示されましたが、表紙の写真は児童館で制作に加わった1～3年生に集ってもらい作品と一緒に撮りました。（一部児童は写真の時だけマスクを外しています）



広丘公民館 フォトニュース (下半期)

9月以降の実施した公民館行事を紹介します。

満蒙開拓平和記念館見学と文芸サロンは、参加者の感想短歌を塩尻短歌館藤森指導員から1首選評していただきました。

満蒙開拓平和記念館見学

2021
9/27

講評
命からがら日本まで逃げ帰ってきた表現が胸を打ちます。結局を「木守柿赤く」で収めることで、全ての苦しみを浄化してくれます。

逃げ切れず子捨て親捨て死にきれず
戻りし故郷木守柿赤く



信州しおじり本の寺子屋 「鳴沢真也講演会」

2021
11/17



スマホ活用入門講座

11/29
▶1/11



第3回文芸サロン「善光寺道名所図会」の今昔

2021
9/30

講評
現代はあまりにも便利になり過ぎて、工夫をすることを忘れてしまった。足りていなかったからこそ人間は成長できたのだ。

昔びとの努力のあとを知るたびに
無為に過ごしたわが身を恥入る



健康講演会 「冬の感染症予防について」



2022
1/18

えんてらすのクリスマス会

2021
12/4



リーすつくったの。さんたさんにぶれぜんともらったの。うさぎさんのやつたのしかったよ。



皆がいるので楽しくできました。また参加したいです。



広丘地区文化サークル紹介

塩尻空手道スポーツ少年団「グレイプス」



塩尻空手道スポーツ少年団・
日本空手協会塩尻支部

サークル活動日 月曜日・木曜日
午後6時30分から8時頃まで

お問合せ先: 奈良井さん
(090-8740-6594)

月曜日と木曜日、えんてらすや広丘体育館を拠点に活動している空手道の団体です。
小学生の子どもたちが中心ですが、幼児から大人まで男女問わず活動できます。子供たちは体力づくりだけでなく、我慢強さや集中力・礼儀正しさなど、稽古を通じて心・技・体のバランスの取れた成長を育みます。まずは遊び感覚で始めてみてはいかがでしょうか。
大人は自分の体力に合わせて稽古(練習・運動)を行い、子どもたちと一緒に憧れの黒帯を目指すことも出来ます。
東京オリンピックで注目された空手競技。当団体も内閣府の認定団体である日本空手協会の塩尻支部として活動し、日本スポーツ協会のスポーツ少年団にも加入しています。インターハイ・国体選手も輩出しましたが、活動していく中で各々が目標を持ち成長できることも醍醐味のひとつです。
いつからでもひとりひとりのレベルに合った稽古(練習・運動)ができる空手道。新しいこと一緒に始めてみませんか。体験はいつでも何回でもお気軽に。

広丘輝き人

全国短歌フォーラム in 塩尻の一般の部、題詠歌で優秀賞、および奨励賞を自由題で入選および奨励賞を受賞されました。中学生が一般の部で優秀賞を受賞したのは初めてのことです。

優秀賞（永田和宏選・小島ゆかり選）、**奨励賞**（佐佐木幸綱選）

つばくらめ 緑をすべり 水すべり 夏をすべるぞ 風だおまえは

入選（小島ゆかり選）、**奨励賞**（佐佐木幸綱選）

冬の日に 体寄せ合い 温まる 雀と同じ 我がクラスなり

【これからの抱負を一言】
これからの短歌フォーラムへの投稿を続けていきたい。宮内庁の歌会始にも挑戦したい。

【短歌以外に好きなことは？】
楽器演奏。絵を描くこと。

【短歌を始めたきっかけは？】
小学校の短歌づくりがきっかけです。
日々の小さな出来事に感動することが短歌の楽しみです。

【優秀賞を受賞されて一言】
大好きな鳥の歌が認められて嬉しい。ツバメの飛翔とスズメが群れで冬に温まる場面をそれぞれ歌にしました。



中村 悠介さん
(広陵中学校3年)
堅石

堅石分館／野村分館

12月4日、塩尻短歌館で“涙活”「人権—共に生きる—」をテーマに朗読会を行いました。



広丘の各分館で行われた 人権学習の取り組み

原新田分館

10月9日、柔道家・介護福祉士で、がんサバイバーである柿本聡さんの講演会を行いました。



郷原分館

12月12日、親子人権学習会として、子ども向けのDVD上映「どんぐり森へ～ひとりにひとつのたからもの～」を行いました。

体協だより

広丘地区体育協会キャッチフレーズ
スポーツを通じ、明るく笑顔で、
健康づくりと仲間づくり

広丘地区体育協会 会長 平林 利幸

広丘体協に対し皆様方の相変わらずの御理解と御協力を賜り感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの影響により2年余りにわたり計画した事業が十分に行えませんでした。市体協はもとより、各地区体協においても同様に中止等が相次ぎました。

さて、親しまれております体育協会という名称が、時代に合わせてか、スポーツ協会という名称への変更が取り沙汰されております。一刻も早いコロナの消滅と計画された事業が新しい名称のもと実施されることを願う次第であります。

今後とも、広丘体協へのご支援よろしくお願い申し上げます。

広丘地区体育協会副会長
(NPO塩尻市体育協会担当)

小野 宏

令和3年度上半期はコロナ感染の第4波、第5波に見舞われ、ほとんどの事業(大会、交流会)が中止、延期を余儀なくされました。

ただ守勢に回ってばかりはいられません。感染が大幅な縮小傾向に転じた秋以降は各競技上位団体が定めるガイドラインに沿った対策をしっかりと講じた上で、精力的に活動を再開する動きが見られました。この流れはさらに広がるはずです。

コロナ対策に留まらず安心・安全な活動の継続に向けて工夫を凝らす、新たな試みにも挑戦する、そんな機会をいただいたと感じています。



12月19日開催、広丘地区剣道練成会の様子
(剣道用フェイスシールドとマスクを着用)

広丘体協「スポーツ少年団」の活動 『少年少女柔道大会』

12月25日に令和3年度広丘・吉田・高出地区 少年少女柔道大会が行われました。

昨年は新型コロナの感染拡大防止のため中止になりましたが、今年は感染レベルも下がり感染拡大防止の対策を行いながらの大会になりました。

幼児、小学1・2年生、3・4年生、5・6年生、中学生男子、中学生女子に分かれ熱い戦いが行われました。

私自身、柔道の大会を間近で観たのは初めてで、学年が上がるにつれて試合中の選手の足音と呼吸に私の心拍数も上がりました。今回、大会運営に携わることができ、また貴重な体験をさせて頂き大変感謝しています。歴史のある大会なので今後も広丘体協として大会に携わっていただきたいと思います。



広丘地区体育協会 スポーツ少年団 三村 哲康

参加者随時募集中！ 広丘地区在住の大勢の皆さん参加をお待ちしています。

問い合わせ先
広丘公民館
☎ 0263-52-0157

広丘地区 ヘルスアップ委員会

2021年度の あ・ゆ・み

ヘルスアップ委員会（保健補導員等）は県内71市町村で設置されており、塩尻市ヘルスアップ委員会もその一つです。塩尻市では各区から委員が選出され、健康セミナーを通じて健康に関する知識を習得したり、地域で教室を開催したりするなど健康づくりのための様々な活動を行っています。

健康セミナー

第1回は6月22日の「大人のラジオ体操を体験しよう！」から始まりました。第2回「高血糖を知ろう」では、血糖値を下げる唯一のホルモンであるインスリンの働きを学びました。食後の高血糖は血管にダメージを与え、動脈硬化を引き起こし、脳梗塞、認知症などのリスクが高くなると考えられています。第3回「ゲートキーパー研修」では、悩みを抱えている方に対する声掛けのポイントを教わりました。そのうちの一つをご紹介します。「OKメッセージを贈ろう」名前と挨拶をセットに、「〇〇さん、おはよう！」と声をかけてみてください。



第2回健康セミナー「高血糖を知ろう」

広丘地区の活動

- 歩き方のコツ伝授講座
歩く姿勢に注目し「正しいウォーキングの姿勢」で歩く練習をしました。
- ラジオ体操講座
ラジオ体操はポイントを意識して行くと、さまざまな効果が期待できるので、自分の好きな場所・好きな時間に1日1回ラジオ体操をすることを呼びかけました。
- 広丘地区文化祭
秋に開催された広丘地区文化祭で「広丘地区ヘルスアップ委員会」について展示しました。



冬の運動不足を感じている方へ 脂肪燃焼&シェイプアップ教室

3月25日(金) 10時～11時30分

場所：塩尻市保健福祉センター3階

内容：日常生活の中で実践できる運動や筋トレ

持ち物：飲み物、フェイスタオル、ヨガマット

講師：小林美穂（健康運動指導士）

参加費：無料

申込み：0263-52-0858

塩尻市健康推進
キャラクター
ラジッコ



♪自分たちの健康は自分たちで守りましょう♪





前回の郷原に続き、今回は原新田分館よりコロナ禍での分館活動の一部を紹介します。

分館だより vol.2 原新田分館

改革元年！ コロナ禍を理由にしない活動

「読まれる」館報にデザイン変更

原新田は年に3回、文教部教養班の役員が中心になって公民館報を発行しています。昨年3月、170号という節目に合わせて大幅リニューアルを行いました。編集・印刷をお願いしている日本ハイコム(株)社の原新田担当の方に相談を重ね、特に表紙のデザインは時間をかけて検討しました。若い世代の目にも留まるデザインになったと自負しています。

魅力ある記事づくり

連載『原新田はっけん伝』を前号172号からスタート。魅力ある区内の「人」や「もの」をピックアップして取材。初回は、「東洋の魔女」と称えられた女子バレーボール日本代表のチームで活躍した87歳の女性。今では信じられないほどの厳しい練習に耐え、世界最強だった日

本チームの当時の様子などをお聞きしました。次号3月発行の173号では、セイコーのクォーツ式時計「初代・アストロン」の開発チームで、唯一の設計担当だった84歳の男性を取材。「今しか聞けない」貴重なお話をお聞きすることができました。

連載『母川回帰～こころの故郷をつくる』では、公民館青少年運動クラブとして52年前に発足した「一里塚剣道クラブ」の心あたたまる師弟のふれあいを紹介しています。

区外の方にも若干数ですがお分けしていますので、お住まいの分館や広丘公民館へお問い合わせください。



(原新田分館 宮田幸恵)

島木赤彦寓居「牛屋」の移築 ～国有形文化財歌碑公園へ～

島木赤彦寓居「牛屋」は、令和4年4月の竣工を目指して移築工事を実施しています。築100年以上経つ牛屋は、木材の腐食や損傷などが多くの部分に見られましたが、一つ一つの部材を丁寧に繕い、できる限り古材を生かして再築しています。併せて、建物の耐震補強や外構の整備もおこない、これからも皆様に安心して牛屋の見学・活用ができるよう進めています。文化財の修理には多くの手間と時間が掛かりますが、地域の宝を後世に繋ぐことを使命に、引き続き取り組んでまいります。

塩尻市文化財課

島木赤彦は明治・大正期に活躍したアララギ派の代表歌人です。その赤彦が、明治42年に校長として赴任した広丘尋常高等小学校(現広丘小学校)時代に2年間暮らしていたのが、広丘原新田の郷原街道沿いにあった島木赤彦寓居「牛屋」です。「牛屋」は屋号、「寓居」は下宿の意味です。

と」を代表するものの一つとして、地域の皆様に大切にしたいだければ幸いです。

塩尻短歌館 館長 勝野雅文

「牛屋」は、令和2年8月に国登録有形文化財に指定され、所有者の太田壽美さんが塩尻市に寄付してくださいました。その後、有効な公開・活用方法を検討する中で、原新田区や短歌館協会の要望もあり、短歌館横の歌碑公園内に移築されることが決まりました。塩尻短歌館と共に「地域の宝」として、また、「短歌の里(ふるさ



移築前の赤彦寓居「牛屋」

ふるさと探訪

No. 62

百年前の流行性感冒(六)

今年(みずのえとら)は「壬寅」の年です。「壬寅」は運氣が芽吹き新しい成長が期待できる年といわれているようですが、今年はどうなる一年になるでしょう。新型コロナウイルスの感染が日本で確認されたのは2年前の1月15日、累計の感染者数は180万人、死者は1万8000人を超えました。ウイルスは変異で頻繁に姿を変え、オミクロン株が猛威を振るっています。県内では一日の感染者数の最多を更新し「まん延防止等重点措置」が出されました。今後どのような状況になっていくでしょう。

「ふるさと探訪」は2年前から「百年前の流行性感冒」を取上げています。その中で、上伊那郡西春近小学校の高等科二年生が伊勢方面への修学旅行後に流行性感冒に罹り、生徒が死亡したことを当時の信濃毎日新聞の10月26日付けから紹介しました。前号では広丘小学校の赤羽威太郎校長が風邪のために亡くなったことを洗馬小学校の学校日誌から明らかにしました。洗馬小学校の学校日誌に流行性感冒のことが記載されるのは10月26日からです。このことから大正7年10月下旬から筑摩郡内は勿論県内でも流行性感冒が流行していたことがわかります。広丘小学校にはその年の学校日誌がないの

で、広丘村がどのような状況だったのか、詳しくはわかりません。『学校沿革誌』の「大正七年十月廿八日死亡 十一月十日 村葬儀執行」の記述を手がかりに10月から11月までのような状況だったのか、信毎のデータベースで調べてみました。

「風邪の病菌発見」の見出しで「仏国に於いて 十四日巴里発 二インフルエンザの病原菌は仏國人に依つて発見せられたり」との記事が書かれているのは10月19日です。22日からは流行性感冒の記事が第五面に毎日書かれるようになります。「併発病の虞あり隔離を要す」の見出しで、今回流行の「悪性風邪」は今や世界的なもので、**慥々風邪**とか**西班牙風邪**ともいわれていること、日本でも猛烈な勢いで広がっていること、普通のインフルエンザとは違っていて、肺炎又は心臓麻痺を起し易いので、その予防法としては患者に絶対接近しないこと、患者を一室に隔離することが報じられたのは26日。翌日には県から「予防注意」が出されています。月末からは「悪風邪益々猖獗中学生徒に死亡者あり」「漸次死亡率を高め」の見出しで罹病者が急性肺炎を併発し死亡する記事が書かれるようになります。そんな状況でしたが、東筑摩郡里山辺小学校では11月に尋常科6年生が直江津方面、高等科生は伊勢方面に出かける記事も登場します。

赤羽威太郎校長のことは31日に「赤羽氏の訃」として記事になっていました。それには「鎌倉・東京方面に修学旅行に

生徒50余名を引率して17日に出発、その帰途21日に小諸町の妻女こう子方の飯寓に宿泊したところ、その夜中に発熱の症状が出て、種々治療をしたけれども、ついに28日の夜7時に長逝したこと、村葬は11月10日におこなわれること、本葬は高遠町の峰山寺で執行のこと」が書かれています。新聞記事によって、当時の状況が少しずつわかってきました。広丘小学校では県内で流行性感冒が流行する前に修学旅行に出かけています。安全を最優先にした旅行で、死亡者がでることは予想もしなかったことで、知らせを受けた学校ではどのような対応をしたのでしょうか。

原新田では大正6年に神社の入り口に双体道祖神を奉納しています。道祖神は子孫繁栄を祈る神であると同時に疫病や流行病を防ぐ神です。校長先生がなくなったことを知った子どもたちは、新しくできた道祖神に手を合わせたのかも知れません。(太田秀保)



編集後記

館報編集委員長として一年が過ぎようとしています。この一年といふのは前年より比較にならないほどコロナの感染者が多い一年となつていまだ、変異株が世界を覆ってきています。この中で前年と変わりなく活動ができたのは館報だけだと思います。

今まで慣例に従つて活動すれば「よし」としてきた公民館の中で、前例がないことばかりがつづいている現在です。公民館から離れて冠婚葬祭ですら、このコロナで大きく姿を変えていきました。この機会に多くの議論をして将来を見据えた展開に世の中変わる必要はあると思います。そういった中ではデジタルフォォーメーションが進んでいないのも公民館の現状だと思います。元に戻すのではなく一歩進んだ近未来になっていきたいですね。(塚原)

世帯数と人口

(令和4年2月1日現在)

区	世帯数	男	女	計
原新田	1,886	2,061	2,001	4,062
堅石	1,019	1,284	1,319	2,603
郷原	701	766	739	1,505
野村	2,617	2,865	2,596	5,461
計	6,223	6,976	6,655	13,631
塩尻市	28,277	33,092	33,191	66,283

令和4年2月25日 発行

編集・発行 : 広丘公民館

印刷 : 日本ハナコ印刷

住所 : 〒399-0702 長野県塩尻市広丘野村2069-1 電話 : 0263-52-0157 FAX : 0263-53-3769

E-mail hirookaka@city.shiojiri.lg.jp